



一般社団法人 細菌性髄膜炎から子どもたちを守る会

2013 年度事業報告書

期間：2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日

◎2013 年度は・・・

- ・髄膜炎デー呼応イベントは大阪で行いました！
大阪鶴見花博記念公園にて多くの団体の皆さまと協働し開催することができました。
- ・当事者・家族のつどいを関東・関西で行うことができました！
- ・日本外来小児科学会で患者・支援者の会ブース展示を行い医療従事者のみなさまに啓発しました。

目次

1. 会報誌・ニュースレター発行事業 . . . 3 ページ

- ・2013年4月 ニュースレター 2013年髄膜炎デー特別号
- ・2013年8月 会報誌どんぐりのこころコロ 夏号
- ・2013年12月 会報誌どんぐりのこころコロ 冬号

2. 当事者・家族のつどい事業 . . . 4 ページ

- ・2013年8月23日 大阪 阿倍野・天王寺地区 集合 開催
(大阪母子医療センターに入院中の仲間に千羽鶴を届けました！)
- ・2014年2月2日 東京 東京駅集合 開催
- ・2014年3月21日 大阪 新大阪集合 開催

各回とも会場は集合場所近くのカフェを使用。
食事や軽食を摂りながらなごやかに交流できました。

3. 啓発事業

- ・髄膜炎デー呼応イベント . . . 5・6・7 ページ
- ・髄膜炎啓発月間ポスターキャンペーン . . . 8 ページ
- ・日本外来小児科学会患者・支援者の会ブース展示 . . . 9 ページ
- ・啓発グッズの製作 . . . 9 ページ

4. その他

- ・講師派遣など . . . 10 ページ

2013年度事業報告

I 事業期間

2013年4月1日~2014年3月31日

II 2013年実施事業

1. 会報誌・ニュースレター発行事業

<p>2013年4月 ニュースレター 2013年髄膜炎デー特別号</p>  <p>細菌性髄膜炎から子どもたちを守る会 ニュースレター</p> <p>2013年 髄膜炎デー特別号</p> <p>ヒブ・肺炎球菌ワクチンを含む 7種ワクチンが4月から定期接種化</p> <p>2013年4月1日より、細菌性髄膜炎の原因となる、ヒブ肺炎球菌、肺炎球菌、髄膜炎球菌、百日咳菌、破傷風菌、ジフテリア菌の7種ワクチンが4月から定期接種化となります。</p> <p>定期接種とは、子どもが生まれてから定期的に接種するワクチンです。定期接種を受けることで、病気にかかるリスクを減らすことができます。</p> <p>ヒブ肺炎球菌は、細菌性髄膜炎の原因となる菌です。髄膜炎球菌は、細菌性髄膜炎の原因となる菌です。百日咳菌は、百日咳の原因となる菌です。破傷風菌は、破傷風の原因となる菌です。ジフテリア菌は、ジフテリアの原因となる菌です。</p> <p>7種ワクチンとは、ヒブ肺炎球菌ワクチン、肺炎球菌ワクチン、髄膜炎球菌ワクチン、百日咳菌ワクチン、破傷風菌ワクチン、ジフテリア菌ワクチン、百日咳菌ワクチンです。</p> <p>定期接種を受けることで、病気にかかるリスクを減らすことができます。</p> <p>定期接種を受けるには、かかりつけの小児科を受診してください。</p> <p>定期接種を受けることで、病気にかかるリスクを減らすことができます。</p>
<p>2013年8月 会報誌どんぐりのころころ 夏号</p>  <p>どんぐりのころころ 2013年夏号</p> <p>子どもたちの笑顔がいっぱいの七夕フェスタ</p> <p>2013年8月25日(日)</p> <p>子どもたちの笑顔がいっぱいの七夕フェスタ 七夕の行事を楽しんでいただく機会をもちました。</p> <p>当日は、お天気に恵まれ、すんなりと行事がすすみ、楽しい時間となりました。</p> <p>ご参加いただいた、ご家族の皆様、誠にありがとうございます。</p> <p>本会では、今後も「会報誌」や「会報誌」を通じて、ご家族の皆様へ、お伝えの場を設けたいと考えています。</p> <p>ご参加いただいた、ご家族の皆様、誠にありがとうございます。</p>
<p>2013年12月 会報誌どんぐりのころころ 冬号</p>  <p>どんぐりのころころ 2013年冬号</p> <p>小児科医療費控除が7月から13歳に拡大されました！</p> <p>小児科医療費控除が7月から13歳に拡大されました。</p> <p>2013年7月1日より、小児科医療費控除の対象年齢が13歳に拡大されました。</p> <p>これにより、医療費の負担が軽減され、子育てがしやすくなります。</p> <p>医療費控除とは、医療費を支払った金額から一定額を控除し、所得税を計算する際に減額されることです。</p> <p>控除額は、医療費の総額から一定額を差し引いた金額です。</p> <p>控除額は、医療費の総額から一定額を差し引いた金額です。</p> <p>控除額は、医療費の総額から一定額を差し引いた金額です。</p>

2. 当事者・家族のつどい事業

2013年8月23日 大阪 阿倍野・天王寺地区 集合 開催
岐阜・徳之島のご家族が参加
大阪母子医療センターで治療中のお子さんに千羽鶴を届ける



2014年2月2日 東京 東京駅集合 開催
東京都在住のお母様2名参加



2014年3月21日 大阪 新大阪集合 開催
山口からご遺族大阪在住のファミリー参加
(写真はありません)

3. 啓発事業

髄膜炎デー呼応イベント

行事名 こどもたちの守れるいのち、輝くいのちフェスタ

実施日 平成25年5月19日

実施場所 花博記念公園鶴見緑地

主催 こどもたちのまもれるいのち、輝くいのちフェスタ実行委員会

共催 一般社団法人 細菌性髄膜炎からこどもたちを守る会、ジェンナーの会

後援・協賛等の行政機関及び団体名（ただし、大阪市は除く）

後援 社団法人 大阪小児科医会 鶴見公衆衛生協会

実施内容及び結果

<趣旨>

髄膜炎に対する認知・認識の向上と予防接種の普及を目指し、2009年より毎年、4月24日を「世界髄膜炎デー」と位置づけている。本年は4月24日から5月25日まで、髄膜炎啓発月間とし、最終の日曜日である5月19日を啓発のファイナルイベントとし、多くの方々に予防をすることで守ることが出来る命と疾患のこと、病気やハンディーを持っていても輝くたくさんの命を多くの方々に知っていただきたく、ご家族で楽しめるフェスタを開催した。

<来場者数>

昼から雨が降ってしまいましたが、ポスターやチラシ、そして交通の便が良く開放感のあるすばらしい環境のおかげでご来場者は順次総数約200名を超えるほどに集まっていた。

<タイムスケジュール>

当日は9時から準備を開始し、当日のボランティア学生さんとともに40人ほどで会場の設営を実施

11時～ 開会式（主催者挨拶。鶴見区の都倉尚吾区長よりご挨拶も頂きました。）

11時30分～ めばえ21さんとダウン症のお子さんのユニットによる青空ダンスパーティー

13時～ ライブ★ザ・ビートラス

13時30分～ ワクチン〇×クイズ

14時～ 子どもの救急ミニ講習★いざというときあわてないために★

15時～ つるりっぷちゃんと握手会、写真撮影会

15時30分～ バルーンリリース。Join hands 記念撮影

16時 ～ 撤去、後片付け

事故無く無事に終了確認17時30分

(休憩の12時～の役30分ほどがん患者支援のリレーフォーライフ関係者のごまごまストバンさんと竹内香さんによる楽器演奏や生ライブ)

<ブース展示>

★細菌性髄膜炎から子ども達を守る会

★ジェンナーの会 (絵手紙体験教室)

★子どもの救急ミニ講習 (14時のステージ発表以外も終日一次救命講習を実施)

★子どものホスピスプロジェクト (活動展示)

★小山音楽教室ボランティアチーム (リレーフォーライフなどのサポートチラシの配布)

★地域共生ケア生野推進委員会 (チャリティーバザー)

★先天性トキソプラズマ&サイトロメガウイルス感染者患者会「トーチの会」(パンフ配布)

★ポリオの会 (冊子の配布、雑誌の展示)

★マスママカレッジ「障がい児のお母さんの算数教室」(掲示物)

★Hope& Wish 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を

★放課後等デイサービスたからばこ (掲示物)

★育児情報誌『miku』配本

<めばえ21>

今、出生前診断が論議されている中、妊娠中のお母さん達が悩みながら検査や出産をしている現状がある。

命に差はなく、生まれる大事な命の選択が後悔することのないように寄り添う相談などもこの団体はされている。

ダウン症のお子さん達も楽しそうにダンスする姿はいろんな人たちに命を考えるきっかけと、何か病気や障がいがあったとしても「大丈夫、一緒に支え合おう」という気持ちにさせてくれた。地域で楽しくいきいきと生活すると言うことは、この積み重ねだと感じさせるステージだった。

<ワクチンクイズ>

子ども達は○か?×か?との問いかけに答えの場所に移動し、正解は子ども達の大好きなつるりっぷちゃんに教えてもらう事ができて、参加者さんは楽しみながらクイズに参加していた。多少難しい問題もあったが二者択一であることや、お父さんやお母さんに確認しながら答えていく子ども達の元気な姿が印象的だった。要所要所で最新情報を織り交ぜたり、小児科医である武内一先生に解説もお願いした。

クイズに頑張って答えた子ども達には日本では販売していない細菌やウイルス

を模したすこし特徴のあるぬいぐるみをプレゼントすることが出来たので、家へ帰ってから、ぬいぐるみを見た際、クイズとなった問題を思い出しご家族やお友達と話すきっかけにしてもらい、更なるワクチンや防げる病気に対する啓発と健康への意識向上へつながっていくことを期待している。

クイズの賞品となったぬいぐるみは独立行政法人労働者健康福祉機構大阪労災病院 川村尚久先生のご寄贈によるもの。

<一次救命講習>

AEDを使うことをいわずらに怖がらず目の前の命に向き合うことで救うきっかけとなったり、ひとりひとりの勇気よってつながって行く命があることを再確認する講習であった。AEDの使い方をはじめ心臓マッサージなど心肺蘇生法を大人も子どもも一緒に学んだ。

<ボランティア>

近畿大学赤十字奉仕団 5名、青年奉仕団 2名、大阪産業大学 3名、大阪大学 1名、一般 2名

多くの若い善意の力でイベントは支えられ、無事行うことができました。また日本の未来を担っていく、彼ら彼女らにもいのちのこと、病気のこと、ハンディキャップのことを知っていただける機会となったことは大変意義あることだったと思う。

<バルーンリリース&Join hands>

バルーンに会場してくださった方や参加者さんの気持ちを記入してもらい、健康や命についてあらためて言葉に代えていただいた。雨だったためグラウンドには向かうことは出来なかったが、フェスタ会場にてリリースすることができた。雨の中最後まで残っていた来場者さん、参加者さんで記念撮影を実施。Join hands というかけ声でみんなは笑顔でつながることが出来ました。Join hands は手をつなぐ、連携する、仲間となるという意味があります。まさにこの日あの場に集まった人たちはこれからも仲間であり、あの場で感じたこと、知ったことをいろいろな方に伝達し、さらに輪を広げ手をつないでくれる大事な仲間達です。今回フェスタが鶴見緑地で実施できたことは大きな成果となりました。今後、病院でポスターを見たとき、ニュースで問題となったとき、新しい情報が入ったとき、自分と自分の大切な人を守るきっかけになっていくフェスタだった。

髄膜炎啓発月間ポスターキャンペーン

実施期間 平成25年4月24日～平成25年5月25日

実施場所 期間内 ポスター掲示 各所

WORLD MENINGITIS DAY
24 APRIL

髄膜炎DAY啓発月間

4月24日～5月25日

子どもたちの救えるいのちと未来って？

原因となる菌は、ごく日常的に子どもたちの身近にいます。

5歳未満の子どもがかかりやすい病気です。

細菌性髄膜炎はいのちにかかある感染症です。

診断するのが難しく急変する病気です。

日本ではまだまだたくさんの子どものかかっています。

マヒやけいれんが起きることもあります。

知ってた？
ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンで多くは**予防**ができます。

主催：こどもたちの守れるいのち、輝くいのちフェスタ実行委員会
ホームページ <http://zuimakuen.net/>
Eメール info@zuimakuen.net

後援：大阪市、大阪小児科医会、
鶴見公衆衛生協会

日本外来小児科学会患者・支援者の会ブース展示

第23回日本外来小児科学会学術大会の患者、家族の会ブース展示に出展いたしました。



啓発グッズの製作

クリアファイル

会のロゴ入り Tシャツ



4. その他

講師派遣など

2013年8月3日

福岡県宗像市医師会開催プレママ向けセミナーに登壇。



プレママ・プレパパ応援セミナー
 ～生まれかわる赤ちゃんのために、小児科医が伝えたいこと～
 生まれてきた赤ちゃんについて不安なこと・聞きたいことを
 専門のプロがお答えします！！

「ワクチンで守ろう！子どもの未来」
 今、聞きたい育児・予防接種について

日時：2013年8月3日(土)
 【15:00～16:55(開場14:30)】

会場：宗像地域医療センター3階「棟室」
 (宗像地区医療センターがある建物の3階です・宗像市田原5-5-5)

◆日時 2013年8月3日(土) ◆定員100名さま (お申込み必須です) ◆送料あり 詳細は裏面に

◆プログラム

- 開会式：宗像医師会 副会長 野元 先生
 開会の挨拶：宗像文化医師会の会 会長 塩谷 美子 先生
- ◆講演 第1部(15:05～15:35) 産後・ひびくこどもクリニック 樋口 真文 先生
 「小児科の上手なかかりかた」
 筑波大学医学部小児科学教室 助教 丹永 久美子 先生
- ◆講演 第2部(15:45～16:05) 産後 あさひ小児科クリニック 藤 裕美 先生
 「こどもたちの守れるいのち、輝くいのち」
 ～細菌性髄膜炎患児家族からのメッセージ～
 一般社団法人 細菌性髄膜炎から子どもたちを守る会 代表理事 田中 美紀 様
- ◆講演 第3部(16:10～16:45) 産後 式立病院 福原 吾郎 先生
 「ワクチンで守るこどもの病氣」
 福岡大学医学部小児科 助教 田中 美紀 先生
- ◆質疑応答(16:45～16:55) 産後 宗像小児科医会 会長 一木 真澄 先生
 事前に右申込時にいただいたご質問にすばりお答えいたします！

科医：宗像医師会、宗像小児科医会、宗像文化医師会の会
 共催：NPO法人「一般社団法人 細菌性髄膜炎から子どもたちを守る会」、宗像医師会、宗像市、アソビパーク
 後援：宗像医師会、宗像市、筑波大

2013年11月20日

徳島文理大学薬学部、学生向けの授業にゲストスピーカーとして登壇
 講演とワークショップに取り組みました。



